

報道関係各位

2008年6月27日

森ビル株式会社

「ドライミスト」でヒートアイランド現象を緩和
六本木ヒルズで次世代の省エネルギー型冷却装置システムを稼動

森ビル株式会社（東京都港区 代表取締役社長 森 稔）は、来街者の快適性向上および省エネルギー推進の観点で、2006年夏から六本木ヒルズに導入した省エネルギー型の外気冷却システム「ドライミスト」の自動制御運転（※）を、6月27日（金）より開始いたします。

「ドライミスト」は、ベタツキを感じないほどの超微細な水滴（ミスト）をノズルから噴霧し、その水滴の気化熱によって冷涼感が得られる装置です。消費電力量がエアコンの約 1/30 と環境負担が軽く、2005年の「愛知万博（愛・地球博）」で暑さ対策の一環として導入され、その後もヒートアイランド対策として自治体が装置導入に補助金を設けるなど、次世代の省エネルギー型冷却装置として注目されています。六本木ヒルズでの具体的な導入効果としては、噴霧エリアの気温を約 1～3℃低下させるほか、来街者の91%が快適と感じていることなどが実証されています（詳細は別紙）。

森ビルは、都市づくりの基本理念として「環境と緑」をミッションの一つに掲げ、地球環境に配慮したサステイナブルな都市の実現を目指しています。ドライミストもその一環として、毎年実施することで、都心の夏の風物としても定着させていきたいと考えています。



六本木ヒルズでのドライミスト噴霧風景



＜ドライミスト設置概要＞

- 設置場所：66 プラザの一部区画（約 30m）
- 設置位置：地表約 3.5m の高さに 3m 間隔（計 9 カ所）
- 噴霧面積：約 180 m²
- 噴霧時間：8:30～18:30
- （※）噴霧開始条件：気温 27.5℃以上、湿度 70%未満、風速 4m/s 未満、降雨なし

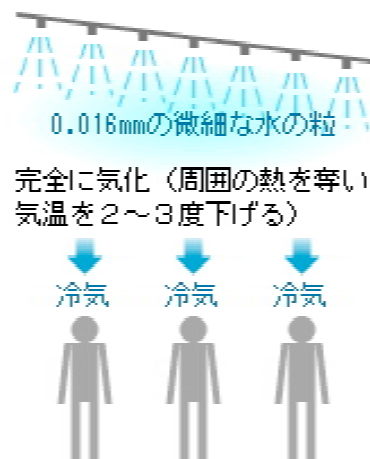
■「ドライミスト」システムの主なポイント

2～3℃の冷却効果

樹木からの蒸散で気温が下がる原理を応用し、ノズルから噴霧される超微細な水滴の気化によって、噴霧エリアの気温をおよそ2～3℃低下させる効果があります。

濡れた感覚がほとんどない微細ミスト

ミスト粒径は16μm（16/1000mm）と小さく、噴霧量はクスノキ林を想定した量となっています。このため、噴霧されたミストは完全に気化し、衣類や肌が濡れるベタツキ感はほとんどありません。



自動制御運転

周囲の気象を観測し運転を自動制御することにより快適な環境を維持します。

六本木ヒルズ・ドライミスト噴霧条件

	噴霧開始条件	噴霧停止条件
気温	27.5℃以上	25.5℃以下
湿度	70%未満	75%以上
風速	4m/s未満	4m/s以上
降雨	なし	あり

省エネルギー性

消費電力量はエアコンの約1/30と環境負担が軽く、次世代の省エネルギー型冷却装置として注目されています。

人やペットへは無害

噴霧水には、清潔な水道水を使用するため、人やペットへの影響はありません。

■「ドライミスト」運転実績

【2006年】

運転期間：7/24 ～ 9/30

運転日数：69日間

稼働日数：36日

稼働時間：209h

	平均外気温	平均外気湿度	平均風速	稼働日数	稼働時間
7月	28.4℃	69.0%	1.3 m/s	2日	13h
8月	29.2℃	70.8%	1.4 m/s	22日	128h
9月	25.1℃	69.6%	1.6 m/s	12日	68h

【2007年】

運転期間：6/20 ～ 9/30

運転日数：103日間

稼働日数：62日

稼働時間：448h

	平均外気温	平均外気湿度	平均風速	稼働日数	稼働時間
6月	26.9℃	70.4%	1.2 m/s	7日	52h
7月	26.2℃	76.1%	1.3 m/s	13日	75h
8月	31.1℃	66.4%	1.1 m/s	24日	220h
9月	26.8℃	73.1%	1.5 m/s	18日	101h

＜本件に関するお問合せ先＞

森ビル株式会社 広報部 野村、深野

TEL:03-6406-6606 FAX:03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp

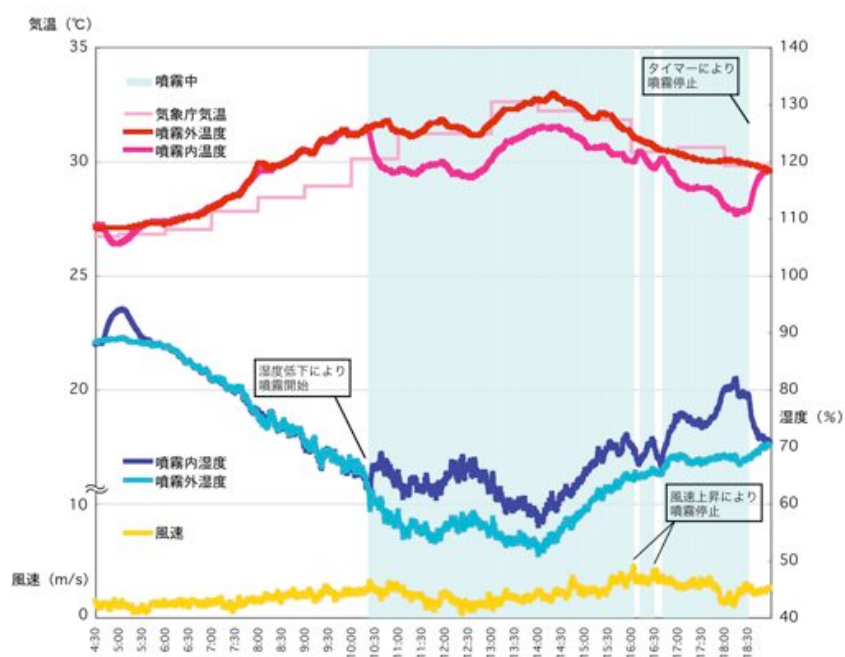
別紙

【参考】

東京理科大学・名古屋大学が実施した効果測定および来街者アンケートの結果

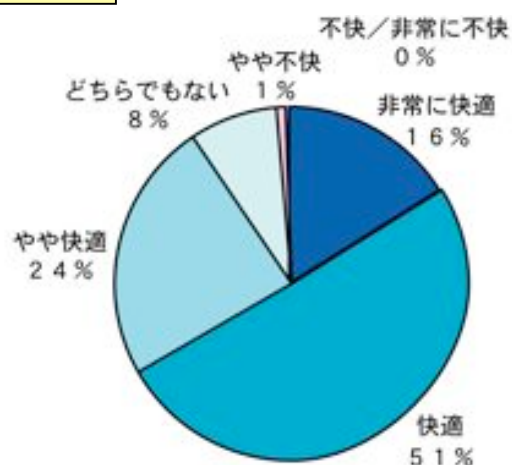
(実施：2006年夏)

約1～3℃の気温低下を実現



グラフ1．外気降温効果測定データ

91%が「快適」と回答



グラフ2．来街者アンケート（快適性）